

あれあい No.40



CONTENTS

- P 2 高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システム導入支援業務を開始
- P 4 乳がんサポートチーム（M-CAST）を立ち上げました
- P 7 日本で2台目！高性能バイプレーン血管撮影装置を導入しました
- P 8 看護部のサポート体制～認定看護師等、ステップ・アップへの資格支援金制度の充実～
- P 9 もの忘れ水頭症外来のご案内
- 水島千鶴子 トーク＆グランドハープライブ演奏会が開催されました
- P 11、12 外来診療のご案内

病院理念

国保水俣市立総合医療センターは、地域住民の皆様に「信頼され、期待され、選ばれる」病院となるために、以下のことに専念します。

- 患者中心の医療
- 安全で高度な医療
- 地域との連携
- 環境保全
- 健全経営

国保水俣市立総合医療センター
〒867-0041 熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
ホームページ <https://minamata-hp.jp/>

QRコードからアクセスできます



高次医療機関とのオンライン・リアルタイム連携システムの運用を開始しました

地域の急性期医療を担う地域中核病院である当センターにて、大学病院等の高次医療機関とオンライン環境下でリアルタイムに連携し、治療方針相談や連携診療を行い、質の高い医療、手術等を提供できるしくみづくりを目的としたシステムの導入・運用を開始しました。

「国保水俣市立総合医療センター」と「熊本大学病院」が遠隔医療支援システム Caseline を用いて連携診療



当センターの医師及び医療スタッフに対し、高次医療機関等の遠隔地にいる医師が、画像や音声等を用いてリアルタイムに診療等を支援（以下「遠隔医療支援」）することができるオンライン・リアルタイム連携システムを導入しました。

株式会社ハート・オーガナイゼーションが開発・提供する遠隔医療支援システム「Caseline（ケースライン）」を使用して高次医療機関からの遠隔医療支援を実現しました。

Befor



- ・疑い疾患名、患者状況など、電話で聞いていてはいるが・・・(しまった)
- ・小声だなあ、聞きそびれた、特定の検査データはあるかなあ（不安）
- ・CT 画像、MRI 画像はどんな感じかなあ（治療準備を早くしたい）

大学病院医師

After



- ・紹介先の電子カルテが見えるから、今までの治療記録がわかる
- ・血液検査データの項目は、十分揃ってるな
- ・CT 画像、MRI 画像が自分の目で見れるから助かる
- ・手術の為の、スタッフ確保が始められるなあ

大学病院医師

特長

・電子カルテ画面を共有

当センター電子カルテ画面を、遠隔にいる専門医（熊本大学病院）とリアルタイムでつなぎ、医用画像・映像をタブレット端末で共有

・リアルタイム検査画像を参照

超音波装置などの検査画面を、リアルタイムにタブレット端末で共有

・患者状況のカメラを介した観察

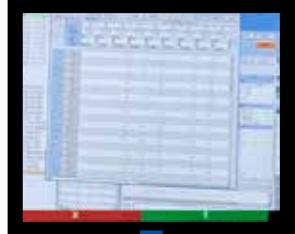
WEB カメラを用いて、患者の状態・患部などを観察できる

※ Caseline は医療機器プログラムの認証を受けており、医療情報保護のための 3 省 2 ガイドラインに準拠しています。

運用イメージ

リアルタイム画像

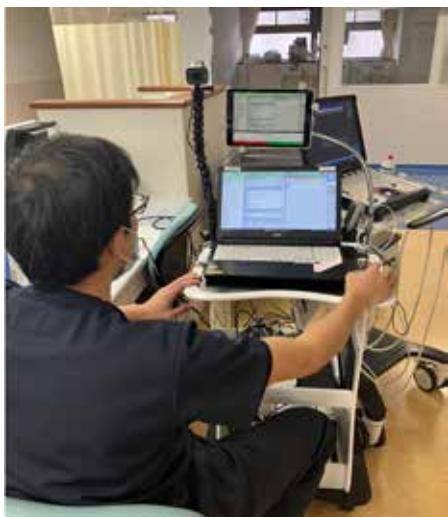
電子カルテ



超音波など



観察用カメラ



国保水俣市立総合医療センター

熊本大学病院

乳がんサポートチーム（M-CAST）を立ち上げました

乳がんの治療は年々高度化・複雑化（病理結果に基づいた手術療法、放射線療法、内分泌療法など）しています。また、手術式の縮小化やクリニカルパスの使用に伴い入院期間は3～7日程度と短縮化し、外来を中心に集学的治療が行われています。そのため乳がん患者さんは、外来診療の合間でのケアにより、治療に対するセルフマネジメントや心のケア不足が生じているといわれています。乳がん患者さんへの治療選択の支援、ボディイメージの変容へのケア、術後リンパ浮腫予防のセルフケア支援、薬物療法の有害事象に対するセルフマネジメントなど、社会生活の問題のサポートやQOLの向上を目指した治療や心のケアを提供する支援体制の整備が重要です。

そこで、乳がん患者さんの治療意思決定支援や、生活のサポートをしていくチームが必要であると考えました。当院には、外科医師や看護職はもとより、診療技術部門においても乳がん患者さんの診療やケアの提供に関わるスペシャリスト人材が揃っています。これら専門家集団が連携して力を発揮する「チーム医療」の実践が当院においても可能であると考えました。それら専門職が協働した乳がん患者サポートチーム（Mammary cancer-associated symptoms management team=M-CAST）を立ち上げることとしました。



M-CAST活動

5月25日：顧問の阿部院長による「乳がん治療」、化学療法認定看護師による「乳がん患者さんのアピアランスケア」について勉強会を開催。チーム部署関連50名の参加。

10月23～27日：ピンクリボン運動開催。

(内容) 院内1階にてポスター掲示・触診モデル使用し触診体験、各関連部門に乳がん検診啓発ポケットティッシュ・リーフレット配置など

11月：MCS (Medical Care Station =完全非公開型医療介護専用SNS)を取り入れ、主要メンバー間で乳がん患者さんの情報共有をタイムリーに行っています。

★これからの活動予定：くまもと森都総合病院へ施設見学（乳がんチーム医療）

M-CAST メンバー

【外科医師】

毎週水曜日に、熊本大学乳腺内分泌外科の山本豊教授を主として熊大病院より日高医師が来院され、乳がん患者さんの外来診療を行っています。



【放射線科：マンモグラフィ撮影認定技師】

マンモグラフィ撮影認定技師を取得した女性技師3名が検査を担当し、精度の高い検診を安心して受けられます。

当院では、トモシンセス画像（断層撮影・3D マンモグラフィ）を撮影しています。

デンブレスト（高濃度乳腺）は病気が隠れて見えづらいため、乳腺エコーとトモシンセスとの併用が有効です。

【臨床検査科：超音波認定技師】

認定資格を有した臨床検査技師が4名在籍し、全ての乳腺エコー検査を担当しています。

認定資格者は質の高い乳腺エコー検査を実施し、主治医へ適切な結果を報告することはもちろん、検査技術の標準化や指導を行っています。

そのために、画像カンファレンスや講習会などにも積極的に参加し、日々研鑽を積んでいます。

検査に使用している機器は4台あり、通常の乳腺で使用するリニアプローブに加え、超高周波の24MHzのリニアプローブがある機器が2台あり、より詳細な検査が可能です。



【医療ソーシャルワーカー (MSW)】

乳がん患者さんとご家族の生活全般のご相談に応じ、経済面・福祉制度・転院・在宅療養・訪問看護等を調整、サポートいたします。患者さんのご希望に沿う治療・療養環境を整えるお手伝いをいたします。



【理学療法士・作業療法士】

乳がんの手術により、わきや腕、胸につっぱり感を生じ、腕を上げにくくなることがあります。こうした症状に対して、予防や改善を図り、元の生活を送れるようにするための機能回復運動を行います。がんが進行し、体が動きにくくなってきた時でも、残された機能を最大限に活かして日常生活を送り、患者さんの希望を支えられるようリハビリを行っています。



【がん化学療法看護認定看護師】

薬物療法では、病理診断により、がんの性質や特徴に応じて最も効果が期待でき、なるべく不要な副作用がないような薬剤を主治医や薬剤師と共に選択しています。日常生活を継続しながら、外来で安全かつ安心して薬物療法を受けられるようにサポートしています。また、乳がんの告知や治療方針の相談の場面に同席させていただき、患者さんやご家族の精神的ケアを行い、治療方針や治療選択などの意思決定を行います。



【緩和ケア認定看護師】

癌による疼痛コントロールを行い、また外来において告知の時から同席し患者様やそのご家族の精神面的ケアや検査・治療の意思決定支援、手術や抗がん剤に伴う症状緩和、がんに伴う痛みなどの症状緩和、療養先の意思決定などを行っています。

【薬剤科】

化学療法センター担当薬剤師や病棟担当薬剤師が、痛みを使用する薬剤の働きや副作用、副作用が出た時の対処法など、さまざまな症状をコントロールするための服薬について個別に説明いたします。

【西3病棟】



産婦人科・小児科・口腔外科・外科などの混合病棟です。成人女性に特化した病棟であり、すべて女性看護師で構成されています。乳がん患者さんの入院期間は1週間程度と短いのですが、治療についての不安などを傾聴し、患者さんが抱く病状やセクシャリティ、QOL低下への不安、羞恥心、恐怖など複雑な心の不安へ寄り添う看護を提供いたします。乳がん患者さんはもちろん、ご家族の方も退院後も安心した生活が過ごせるよう努めています。



【リンパ浮腫療養士】

術後リンパ浮腫によるつらさをやわらげ、少しでも生活しやすいように治療を行います。

また補正具の提案など、日常生活へのサポートを一緒に考えます。

医療リンパドレナージセラピストが患者さまの状態を確認後、施術を行い、病棟看護師へも施術について伝達を行い継続したリンパドレナージの提供を行っています。

乳がんと診断された患者さんやご家族の方は、治療を続け生活をしていくなかで、さまざまな課題に直面することがあります。当院では、乳がんになっても安心・納得して治療を受け、自分らしい生活が送れるように、共に協力し、支援する体制を整えています。

高性能バイプレーン血管撮影装置を導入しました

アーティス

アイコノ

ビーシー

ARTIS icono BC

日本で
2台目

最新で
安全



全身各臓器の血管撮影と血管内治療を行う装置です

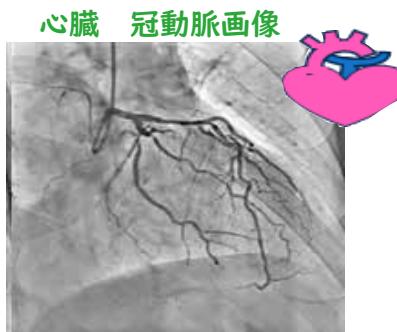
血管内に細かい管（カテーテル）を挿入し、造影剤を注入することで、血管病変（塞栓・狭窄・動脈瘤等）の診断・治療が可能です。

世界最高のスピードと画質で複雑な血管の走行も短時間で把握できます。

患者様の放射線被ばく低減もまた十分に考慮したシステムですので、安心して検査・治療を受けていただけます。

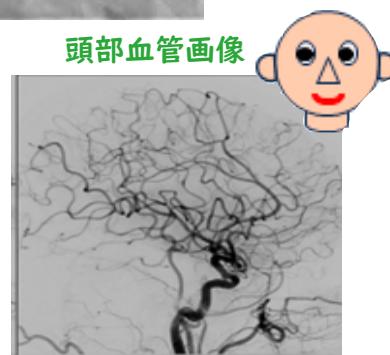


フルデジタルのフラットパネルディテクタ。
1回の撮影で2方向が撮影可能なバイプレーン装置です。
造影剤の使用を抑えられます。



心臓 冠動脈画像

下肢血管画像



頭部血管画像

～思いやりとやさしさを心に込めて～ 私たちと一緒に水俣の医療を守りましょう 医療センター看護部のサポート体制

認定看護師等、ステップ・アップへの資格支援金制度の充実

認定看護師・特定行為研修をはじめ、糖尿病療養指導士、呼吸ケア専門士、認知症ケア専門士、NST 専門療法指導士など年々増加し、それぞれの力を発揮し、医療の質向上のため、チーム医療の中でその役割を発揮しています。



認定看護師ってどんな看護師？

認定看護師は高度化し専門分化が進む医療の現場において水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。

認定看護師ってどんな資格ですか？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の教育を納め認定看護師認定審査に合格する事で取得できる資格です。

医療センターにはどんな認定看護師がいますか？

感染管理1名、糖尿病1名、
皮膚排泄ケア1名、緩和ケア1名、
がん化学療法1名、脳卒中リハビリテーション看護1名
クリティカルケア（急性・重症患者看護）1名、
救急看護2名

プリセプターシップ導入による、マンツーマンの指導



新人看護師が仕事と職場にスムーズに馴染めるように、技術的な指導とメンタル面のサポートを行う教育システムを導入しています。気持ちに寄り添い、悩みや不安の軽減に努め、慣れない環境でも安心して活動できるよう支援します。

院内保育所および病児保育室完備・出産後や育児中の勤務をサポート



院内保育所『むつみ』は、病院に勤めている全てのスタッフが、子育てしながらでも安心して働けるようにという想いで開設されました。一時保育にも対応しています。

病児・病後児保育室『えがお』は、体調に不安があったり、病気の回復途中のお子さんを預けることができます。

病院見学はいつでも受け付けています



←病院見学申込フォーム
QRコード

令和7年4月1日の採用試験情報は、
令和6年4月の市報に掲載予定です。

病院ボランティアを募集しています

院内でボランティアとして活動してくださる方を募集しています。

内容：外来患者さまのお世話・受診手続きの補足説明・各科外来、検査室等への誘導、案内など。

お問い合わせ先：総務課総務係
(電話：63-2101 内線582)

もの忘れ水頭症外来のご案内

脳神経センター長 工藤 真励奈

当院脳神経外科では 2020 年度から、毎週金曜日に「もの忘れ水頭症外来」の診療を行っています。認知症には様々な原因疾患がありますが、そのうち約 5% は「特発性正常圧水頭症 (iNPH)」といわれており、早期に手術を行うことで症状が改善する場合があります。

また頭部打撲後 1 ~ 3 ヶ月経ってから数日 ~ 数週間で比較的急に進行する認知症症状のある方では、「慢性硬膜下血腫」を発症している場合があり、これも手術によって改善することが多くみられます。

「もの忘れ水頭症外来」の診療開始当初は、これらの「手術で治る認知症」の発見と治療に主として対応してきましたが、2022 年度からは認知症学会専門医により、アルツハイマー病を代表とした他の認知症においても、診断・治療の対応が可能となりました。

認知症は完治せず進行していくことが多い疾患ですが、認知症の病型や進行度に応じて適切な対応（非薬物療法・環境調整）を提案し、介護保険サービスなど適切な支援へ繋げることで、認知症関連の困りごと（周辺症状；BPSD）を減らし、ご本人ご家族の QOL を保つことができます。

また昨年 12 月に承認されたアルツハイマー病に対する新薬「レケンビ®」についても、おそらく 1 割程度の患者さんが適応となると予測されておりますが、適応診断のための検査として、髄液バイオマーカー測定が当院では可能です。

この新薬の投与についての施設要件も揃っていますので、近い将来当院での導入を検討しているところです。

受診に際しては、事前に予約が必要です。

可能な限り、かかりつけ医の情報提供書、おくすり手帳を持参してください。

これらの準備が難しい場合は、脳神経センター受付にご相談ください。

必ず受診されるご本人と一緒に、普段の様子を知っている方（ご家族、担当ケアマネージャーなど）の同席をお願いします。



水島千鶴子

トーク＆グランドハープライブ演奏会が開催されました

2023 年 11 月 10 日に国保水俣市立総合医療センターにおいて、ハープ奏者でミュージックセラピスト（音楽療法士）でもある水島千鶴子さんの演奏会が開催されました。

当日は、午後から各病棟で、17 時から病院ロビーで演奏いただきました。

近年の新型コロナウィルスの影響で、患者さんは家族との面会が制限され身近な方とのコミュニケーションが取れない状況となり、また医療機関側でも職員のストレスフルな勤務が続きました。

今回のミュージックセラピーにより、心が癒されたとの多くのコメントを患者さんや職員の皆様方から頂きました。



【アイリッシュハープ】
弦楽器の一種で
アイルランド生まれのハープ

アナザーストーリー

I. First story

—「音楽」と「新しい命」との巡り合い—

小児科病棟では、生まれたばかりの赤ちゃんがお母さんに抱っこされ、一生懸命にハープの音色を聞いていたとの事。赤ちゃんの名前は「いと」ちゃんと決まつたが、漢字はまだ決まっていませんでした。

しかしお母さんはハープ演奏会での「いと」ちゃんの様子を見て、漢字は美しい音色を紡ぎ出すハープの弦をイメージして、「弦」決められたとのこと。

これから「弦」ちゃんはきっと人生をやわらかな旋律で彩り、周囲の人と美しいハーモニーを奏でる人となるでしょう。



II. Second story

—病棟での happy birthday 合唱—

循環器病棟で、ハープ演奏会当日に95歳の誕生日を迎えた女性患者様がおられました。

当日、今日が誕生日と聞いた千鶴子さんとボランティアの方は即興で特別プログラムのハープ演奏と合唱のお祝いをしました。

演奏が終わると、女性患者様は「思い出深い誕生日になりました。ありがとう」と語りかけてくれました。



ハープの音が患者様の心に響き渡ったのでしょうか？ 病棟も愛と温かさに包まれていったとの事でした。

III. Third story

—なんと坂本管理者もハープ演奏！—

病院ロビーでの演奏会では坂本管理者が、千鶴子さんに促され登壇しました。

坂本管理者は初めて手にしたハープだったようですが、千鶴子さんの温かな指導のもと、心に秘めた地域医療にかける思い込めるかのように、心地の良い優しい旋律を奏でられました。



医療センターではハープの音色に包まれ、多くの患者さんや職員の方々に心の癒しをもたらし、素敵な時間を過ごすことができました。

thank you for Chizuko

後援：睦水会
茶道部 コミュニケーションベース部

国保水俣市立総合医療センター外来診療のご案内

令和6年2月現在

午前診察 8:30 ~ 12:00 (受付 8:00 ~ 11:00)
午後診察 14:00 ~ 17:00 (受付 13:30 ~ 15:00)

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
呼吸器内科	午前	診察	田代 康正	田代 康正	内藤 大貴	町田 紘子	田代 康正
			町田 紘子	内藤 大貴	非常勤医師	内藤 大貴	町田 紘子
	午後	検査	気管支内視鏡	—	気管支内視鏡	—	—
脳神経外科	午前	診察	中垣 祐紀	手術	工藤 真励奈	工藤 真励奈 中垣 祐紀	物忘れ水頭症外来 工藤 真励奈 中垣 祐紀
	午後	診察	担当医	手術	担当医	脳ドック(担当医)	担当医
脳神経内科	午前	診察	井 建一朗	植田 明彦 (10:00~14:00)	池袋 雄太	井 建一朗	池袋 雄太
		(新患) 診察	池袋 雄太	(完全予約制)	(新患) 井 建一朗	(新患) 池袋 雄太	(新患) 井 建一朗
MEG センター	午前	特殊検査(脳磁計)			(予約) 中村 政明		
消化器内科	午前	診察	立山・古庄	成田・家城	小森田・東	立山・小森田	家城・古庄
		消化管透視検査	—	—	—	阿部 道雄	—
		消化管内視鏡検査	家城・小森田	立山・小森田 古庄	家城・古庄	家城・古庄 吉成	立山・小森田 外科担当医
		腹部超音波検査	—	—	立山	—	—
	午後	検査	立山・家城 小森田・古庄	立山・家城 小森田・古庄	立山・家城 小森田・古庄	立山・家城 小森田・古庄	立山・家城 小森田・古庄
循環器内科	午前	診察	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹	上村 智明	廣瀬 豊樹	廣瀬 豊樹
			中西 信博	中西 信博	非常勤医師	非常勤医師	上村 智明
	午後	診察(予約のみ)	—	(ペースメーカー外来) 担当医	—	—	廣瀬 豊樹
心臓 血管外科	午後	診察(予約のみ)	—	—	—	—	(第2週) 非常勤医師
糖尿病・内分泌センター 代謝内科	午前	診察	藤澤 和夫	古川 昇	古川 昇	矢野 雄久	古川 昇
			矢野 雄久	藤澤 和夫	藤澤 和夫	藤澤 和夫	矢野 雄久
			(新患)	矢野 雄久	(新患)	古川 昇	(新患)
	午後	診察(予約のみ)	藤澤 和夫	古川 昇	古川 昇	矢野 雄久	矢野 雄久
			矢野 雄久	藤澤 和夫	藤澤 和夫	藤澤 和夫	—
				矢野 雄久		古川 昇	
小児科	午前	診察	樋木 仁	樋木 仁	黒澤 孝一	樋木 仁	黒澤 孝一
			非常勤医師	三渕(第2週) 園田(第1.3.4.5週)	非常勤医師	園田 ユカ	非常勤医師
	午後	診察(予約のみ)	(喘息外来) 担当医	(予防接種) 担当医	(喘息外来) 担当医	(1ヶ月検診) 担当医	アレルギー外来 (奇数月第2週)

科名	区分	内容	月	火	水	木	金
外科	午前	診察	志垣 博信	坂本不出夫 (9:00~)	坂本 不出夫	長井 洋平	阿部 道雄
			堀之内 誠	志垣 博信	阿部 道雄	—	堀之内 誠
		長井 洋平	—	長井 洋平	—	—	—
		オンライン診療	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平	長井 洋平
	午後	乳腺・内分泌	—	—	非常勤医師	—	—
整形外科	午前	診察	宮崎 信	中西 浩一朗	中西 浩一朗	宮崎 信	宮崎 信
			沼田 亨祐	沼田 亨祐	棚平 健	棚平 健	沼田 亨祐
		棚平 健	相馬 史朗	三浦 溪	相馬 史朗	三浦 溪	—
		今泉 茜	—	—	今泉 茜	—	—
	午後	診察	—	—	馬場 敦子 (毎月第1・3水曜日)	松瀬 博夫	—
リハビリテーション科	午前	診察	谷川 広紀	谷川 広紀	水橋 覚	谷川 広紀	長野 晴香
			長野 晴香	水橋 覚	—	長野 晴香	水橋 覚
	午後	診察	—	—	手術	—	手術
			(新患) 三浦 太郎	三浦(第1・3・5週) 愛甲(第2・4週)	(新患) 愛甲 泉	(第4週)(新患) 福島 結美	(新患) 岩下 仁
泌尿器科	午前	診察	(再来) 岩下 仁	(再来) 岩下 仁	(再来) 岩下 仁	(再来) 三浦 太郎	(再来) 愛甲 泉
			担当医	担当医	担当医	担当医	—
			—	—	—	(予約) 担当医	—
	午後	診察 特殊検査・手術	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
腎臓内科	午前	診察	—	—	—	深水(第2週) 井上(第4週)	—
産婦人科	午前	診察	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	(新患) 宮村 伸一	(新患) 松井 幹夫	手術
			(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	(再来・妊婦健診) 松井 幹夫	(再来・妊婦健診) 宮村 伸一	
			(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	(人間ドック) 担当医	—
	午後	診察	—	—	—	(再来) 宮村 伸一	(再来) 宮村 伸一
			—	—	—	—	—
眼科	午前	診察	非常勤医師	特殊再来	非常勤医師	特殊再来	非常勤医師
	午後	診察	特殊再来	特殊再来	手術	特殊再来	特殊再来
耳鼻咽喉科	午前	診察	—	非常勤医師	—	—	非常勤医師
	午後	診察	非常勤医師 (13:30~15:00)	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
放射線科	午前	診察	—	—	—	—	—
	午後	診察(外来紹介患者のみ)	楠 真一郎 近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠	近藤 匠
			—	—	—	—	—
歯科口腔外科	午前	診察(初診受付は午前のみ)	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直	—	尾木 秀直
			劉隣	劉隣	劉隣	—	劉隣
	午後	診察(再診及び入院患者の初診のみ ※急患を除く)	尾木 秀直	—	尾木 秀直	尾木 秀直	尾木 秀直
			劉隣	—	劉隣	劉隣	劉隣